

施策評価シート(令和2年度実施施策)

総合計画 体系	政策	1	政策名	自然に配慮した環境づくり	施策主管課	建設水道課
	施策	1-3	施策名	交通体系の充実	施策主管 課長名	鈴木 明利
関係課	政策財政課 建設水道課					

1. 施策の目的

対象	①町民	意図	①便利に移動できる
	②町域		②移動できる交通体系が整う

2. 成果指標

指標名	単位	現状値	上段：目標値 下段：実績値				
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
町内の道路での移動に不便を感じている町民の割合 (減少)	%	29.7	29.2	28.6	28.1	27.5	27
			35.7	34.7	33	32.9	35.6
公共交通での移動に日常的に不便を感じる町民の割合 (減少)	%	13.3	13	12.7	12.4	12.1	11.8
			15.8	12.7	10.9	9.2	9.6

3. 指標の分析(成果が向上した、またはしなかった理由)

良好な道路状況を確保するため舗装補修・修繕を実施しているが、経年劣化による破損もあることや、令和2年度は数年振りの大雪であったことにより、除雪に対する苦情も多かったことから、実績値が増加したものと考える。
路線バスの再編を行い経路変更等を行ったことが影響し、前年度から微増しているが、地域拠点への乗り入れを行うなど利用しやすい環境を整えたことにより目標値は達成したものと考える。

4. 課題に対する取組(今年度重点的に取り組んだ課題)

道路を常に安全で良好な状態に保つため舗装補修・修繕を行うとともに狭隘道路の整備を実施した。また、新型コロナウイルス感染症対策として出勤体制の見直しを行った。 ・会津圏域地域公共交通再編実施計画を策定し、計画に基づき利用しやすい広域交通として、路線バスの再編と経路変更、地域拠点の乗り入れを行った。

5. 次年度の方向性

道路や橋梁等を修繕計画に基づき補修・改良するとともに冬期間の効率的な除雪を行い、交通障害を解消し、良好な道路環境を確保する。また、鉄道、路線バス及びデマンド交通等を一体的に捉え、利用しやすい公共交通体系を維持するとともに、デジタル化の加速も踏まえ必要なシステムの導入について検討する。
--

重点的に取り組む課題

道路や橋梁の適切な維持管理
危険性のある狭隘区間の解消
持続可能な公共交通体系の構築

施策の重点事業

道路維持管理事業
除雪対策事業
橋梁長寿命化補修事業
公共交通利用促進事業

6. 施策を構成する事務事業

番号	事業通番	事務事業名	令和2年度決算額 (千円)	最終評価結果	
				事業実施の方向性	成果の方向性
1	4393	道路除草作業委託事業	11,936	継続	現状維持
2	4560	道路維持管理事業	101,605	継続	現状維持
3	4562	道路照明・街路灯設置事業	12,610	継続	現状維持
4	4563	除雪対策事業	166,172	継続	現状維持
5	4568	一般単独事業費（改良舗装等事業）	29,936	継続	現状維持
6	4570	建築基準法（2項道路）整備事業	2,209	継続	現状維持
7	14010	防雪柵整備事業	60,968	継続	現状維持
8	14580	橋梁長寿命化補修事業	40,706	継続	現状維持
9	15072	道路新設改良等事業	101,820	継続	現状維持
10	15571	地域公共交通活性化再生事業	44,496	改善して継続	拡充